

「営繕工事における週休2日試行工事」Q&A

令和4年7月改定

【用語関係】

- 問1 工期と対象期間とは何が違うのでしょうか。
- 問2 対象期間から除かれる夏期休暇3日間、年末年始6日間は具体的にはいつですか。
- 問3 分離発注される外構工事（土木一式工事）は試行対象工事に該当しますか。
- 問3 対象外工事の「竣工時期に制約がある工事」とは、具体的にどのような工事ですか。

【現場休息率の算定】

- 問5 現場休息率はどのように計算するのですか。
- 問5 現場休息率は月当たりで計算する必要がありますか。
- 問6 現場休息率の算定において、祝日はどのように扱えばよいですか。
- 問7 計画していた「夏季休暇」や「年末年始」に作業を行った場合、どのように現場休息率を算定すればよいですか。

【週休2日の実施（着工前）】

- 問8 試行対象工事を受注し、「週休2日工事」を希望しなかった場合、ペナルティはあるのでしょうか。
- 問9 同一現場で分離発注される場合、各工事の受注者間での調整等は必要でしょうか。

【週休2日の実施状況関係（着工後）】

- 問10 試行対象工事を受注し、週休2日を実施する工事としていましたが、施工途中で、4週6休以上の確保が困難になった場合、ペナルティはあるのでしょうか。
- 問11 4週8休を目標にして計画工程表を提出しましたが、現場休息の状況が4週6休となってしまった場合、どのようなになるのでしょうか。
- 問12 作業予定日を雨天や台風等で休日（現場休息）にする場合、当日の判断でもよいですか。
- 問13 休日取得予定日に自然災害等で予定外の作業が発生した場合は、振替休日を取得する必要がありますか。

【変更契約関係】

- 問14 週休2日の実施により工期末に完了できなくなってしまう場合、これを理由に工期延伸は認められますか。
- 問15 週休2日が達成できたとき及び達成できなかったときの変更契約はどうなりますか。

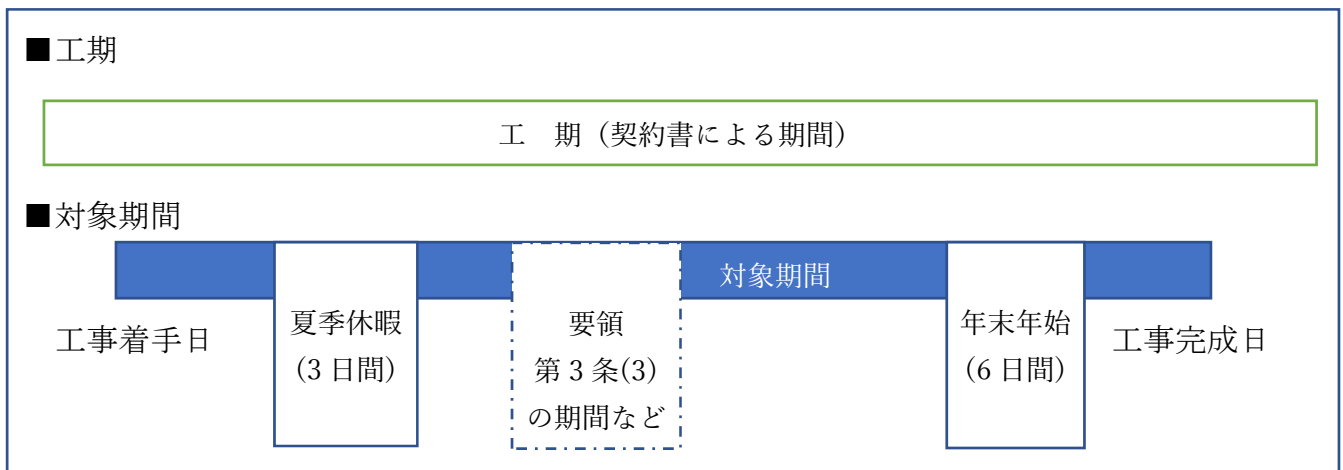
【用語関係】

問1 工期と対象期間とは何が違うのでしょうか。

答1 工期とは、契約書に定めるものです。

対象期間とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（監督・検査・確認申請書の申請日）までの期間のことです。

なお、夏季休暇3日間、年末年始6日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間（要領第3条（3））など）は含みません。



問2 対象期間から除かれる夏季休暇3日間、年末年始6日間は具体的にいつですか。

答2 夏期休暇は8月13日から15日の3日間、年末年始は12月29日から1月3日までの6日間としています。

問3 分離発注される外構工事（土木一式工事）は試行対象工事に該当しますか。

答3 外構工事（土木一式工事）は、要領2条に規定する工事ではないため、本要領の試行対象工事には該当しません。ただし、原則として、土木工事等に適用する『佐賀県「週休2日試行工事」実施要領』の対象工事として発注することとします。

問3' 対象外工事の「竣工時期に制約がある工事」とは、具体的にどのような工事ですか。

答3 県立学校等における長期休み中の施工が必要な工事や、イベント等の開催予定などにより竣工時期を変更することができない工事を想定しています。

【現場休息率の算定】

問4 現場休息率はどのように計算するのですか。

答4 現場休息率は、「対象期間中に実施した現場休息日の合計日数」を「対象期間」で除して算定します。なお、端数は、小数以下第2位を切り捨てとしてください。

問5 現場休息率は月当たりで計算する必要がありますか。

答5 工事着手日から完成日までの合計期間で計算しますので、月当たりの算定は必要ありません。

問6 現場休息率の算定において、祝日はどのように扱えばよいですか。

答6 祝日（年末年始6日間、夏季休暇3日間を除く）は、対象期間（現場休息率の算定期間：分母）に含みます。また、祝日を現場休息日とした場合は分子にカウントして現場休息率を算定します。

問7 計画していた「夏季休暇」や「年末年始」に作業を行った場合、どのように現場休息率を算定すればよいですか。

答7 「夏季休暇」は3日間、「年末年始」は6日間になるよう別の日に振り替えて確保してください。

この場合の、現場休息率は、下記により算定してください。

- ・(分母) 対象期間：夏季休暇、年末年始に相当する日数（それぞれ3日間、6日間）を除いた期間
- ・(分子) 現場休息日：対象期間内の現場休息日の合計とし、夏季休暇及び年末年始から振り替えた日は除いてください。

【週休2日実施の検討（着工前）】

問8 試行対象工事を受注し、「週休2日工事」を希望しなかった場合、ペナルティはあるのでしょうか。

答8 試行対象工事は、「週休2日工事」の実施を義務付けているものではありません。

従って、「週休2日工事」を実施しなかったとしても工事成績評定における減点等のペナルティはありませんが、要領の目的をご理解の上、実施に努めてください。

問9 同一現場で分離発注される場合、全ての工事の受注者間での調整は必要ですか。

答9 同時期に分離発注された建築工事、電気工事、機械設備工事は密接に関連しているため、工程表の作成に当たっては、試行対象工事の受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう工事着手前に調整を行ってください。

また、統括安全衛生責任者を選任している受注者が現場休息の日となる場合は、他の受注者から代理者を選任する必要がありますので、現場の体制についても必要な調整を行ってください。

なお、同時期に着手できない外構工事等は本試行要領の対象外としています。ただし、原則として、土木工事等に適用する『佐賀県「週休2日試行工事」実施要領』の対象工事として発注することとします。（答3再掲）

【週休2日の実施状況関係（着工後）】

問10 試行対象工事を受注し、週休2日を実施する工事としていましたが、施工途中で、4週6休以上の確保が困難になった場合、ペナルティはあるのでしょうか。

答10 4週6休以上が達成できなかった場合においても、工事成績評定において減点等のペナルティはありません。ただし、現場休息率が施工途中で計画と異なった場合は、速やかに監督員と協議を行って下さい。

問11 4週8休を目標にして計画工程表を提出しましたが、現場休息の状況が4週6休となくなってしまった場合、どのようになるのでしょうか。

答11 週休2日の実績が4週6休として設計変更および工事成績評定を行います。
なお、現場休息の実施が計画と異なる場合は、速やかに監督員と協議してください。

問12 作業予定日を雨天や台風等で休日（現場休息）にする場合、当日の判断でもよいですか。

答12 当日朝の判断でも構いません。一日を通して現場休息できた場合は現場休息率に算入できます。

問13 現場休息予定日に自然災害等で予定外の作業が発生した場合は、現場休息振替日を取得する必要がありますか。

答13 当該作業が、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間（要領第3条(3)）に該当する場合、対象期間から除かれることになるため、現場休息率を考慮の上、現場休息振替日の取得の必要性を検討してください。

【変更契約関係】

問14 週休2日の実施により工期末に完了できなくなってしまう場合、これを理由に工期延伸は認められますか。

答14 工期は週休2日を見込んだ期間を設定しており、週休2日の実施を理由に工期の延伸は認められません。

問15 週休2日が達成できたとき及び達成できなかったときの変更契約はどうなりますか。

答15 週休2日の実績に応じて実施要領第6条により変更契約を行うことになります。
また、達成できなかった場合であっても、減額の変更契約は行いません。